



参加無料

京都大学東京オフィス（新丸ビル10階）にて開催

第142回京都大学丸の内セミナー

現地×オンライン



ボルネオ島でテングザル研究： フィールド研究の魅力と可能性

令和6年10月4日（金）

18:00～19:30

講演者：松田 一希（野生動物研究センター・教授）

熱帯の森を歩いたことがない人にとって熱帯雨林は、暑くてジメジメして、蚊、ダニ、ヒルの猛攻撃に加えて、猛獣がうろつく恐ろしい場所を想像するかもしれません。都会の生活に慣れた人間にとっては、確かに辛い環境です。四季に恵まれた温帯のほうが、よほど住みやすいと思うかもしれません。しかし熱帯雨林は、世界中の生物の50-80%が生息する、生物多様性のホットスポットです。食物が枯渇し、凍死の危険におびえる冬はありません。一年中、森のどこかで植物は果物を実らせ、そして若葉が芽吹く。動植物の息づく多様な森に魅了され、私は毎年のように東南アジアのボルネオ島の熱帯雨林に通っています。天狗のような鼻を持つテングザルを主に研究しています。300種以上の霊長類の中で、こんな奇妙な進化をとげたサルは他にはいません。誰もが思う「なぜあんな鼻を・・・」の謎。その謎解きに夢中なのです。本講演では、コストパフォーマンス（コスパ）の対極に位置するような、泥臭いフィールドワークだからこそその新発見の数々、そしてフィールド研究の魅力や可能性についてお話しします。



京都大学研究連携基盤

Kyoto University Research Coordination Alliance

受講申込みはこちらから

「京都大学研究連携基盤」で検索

<https://www.kurca.kyoto-u.ac.jp/seminar>

京都大学丸の内セミナー 開催予定一覧

開催回	日時	講演者 所属	講演タイトル	講演者
第140回	令和6年6月7日(金)	フィールド科学 教育研究センター	水中の生物を音で調べる 熱帯のジュゴンと南極の魚	市川 光太郎 准教授
第141回	令和6年8月2日(金)	基礎物理学研究所	巨大電波望遠鏡で見上げる 星空～太陽系の昔の姿と は?～	大屋 瑤子 講師
第142回	令和6年10月4日(金)	野生動物研究セン ター	ボルネオ島でテングザル研 究：フィールド研究の魅力 と可能性	松田 一希 教授
第143回	令和6年12月6日(金)	学術情報メディア センター		
第144回	令和7年2月7日(金)	数理解析研究所		

※講演タイトル、講演者は決まり次第、研究連携基盤HP (<https://www.kurca.kyoto-u.ac.jp/seminar>) に掲載いたします。